

OPE 室器械出し ME の採用について

臨床工学科

挨拶

臨床工学技士とは医療機器のスペシャリストで医師の指示のもと生命維持管理装置などの医療機器操作・保守・点検を行っています。医療法人博豊会は2013年に設立し、昨年9月に博豊会 東京脊椎病院を開院しました。理念である研鑽、創造、貢献に基づいて最先端の医療機器を導入し日々治療にあたっています。当法人では年間1500症例に対応するため日々体制作りを行っています。現在では2名の臨床工学技士が在籍しており、様々な業務を行っているため複数名増員予定です。

各業務内容

手術室：器械出し

2021年に臨床工学技士の業務範囲拡大が発表されたことにより当院でも業務拡大を行いました。八王子の分院では既に臨床工学技士による器械出しを行っており、年間120/845件(2022年度)行いました。器械出し症例は経皮的椎体形成術(BKP)から前方椎体置換術(X-core)まで幅広くこなしています。

臨床工学技士が清潔野に入ることにより清潔内で起きた医療機器トラブルにも迅速かつ柔軟に対応しています。

手術室：術中神経モニタリング業務

術中神経モニタリングは、術野操作により神経合併症の発生防止の1つとして行っています。波形振幅の減衰や延時から異常を察知し医師に伝えることにより神経合併症の軽減に寄与することを目的としています。

手術室：Navigation 業務

術中にO-armを撮像しNavigationシステムに取り込むことにより撮像したデータをもとに手術を行っています。術中動作がNavi画面に連動し椎弓根径や椎体の長さなどを測定し医師に伝え、より安全に手術を行うことを目的としています。

最新のO-armやNaviを導入することにより医療安全や麻酔時間、患者低侵襲に繋がっています。

手術室：機器管理業務

麻酔器や電気メス、生体情報モニターなどの手術機器の保守・点検を行っています。

また、手術室内の血液ガス分析装置のメンテナンスや消耗品の在庫管理、その他機器のトラブル対応も実施しています。

医療機器管理業務

人工呼吸器、輸液、シリンジポンプなどの保守・点検や貸出、返却における機器管理業務を行っています。また、手術室における除細動器の保守・点検、病棟の貸出モニターやセントラルモニターのチャンネル設定、各種機器トラブル対応を実施しています。